

## 平成25年度 愛・地球博成果継承発展助成事業について

25 地 研 ED 第 04181 号  
平成 25 年 3 月 29 日  
一般財団法人地球産業文化研

平成25年度の愛・地球博成果継承発展助成事業として、次の11件が採択されましたのでお知らせします。

なお、平成26年度愛・地球博成果継承発展助成事業の募集については、年内にも当財団のホームページ等においてお知らせする予定です。ご関心のある方はご留意下さい。

(単位:千円)

事業番号	団体名	区分	事業名称	事業内容	助成対象費用	決定助成限度額	採択理由
25-1-A	特定非営利活動法人 取手アートプロジェクト オフィス	A	3.11後の郊外社会を創造する半農半芸プロジェクト	3.11後の新たな郊外社会作りを目指して、ニホンミツバチ関係事業、里山保全・ブナ林整備、耕作放棄地の整備・サツマイモ栽培・壺焼きイモ事業、フォーラム「半農半芸サミット」等で構成される半農・半芸プロジェクトの実施。	7,502	6,000	半農半芸プロジェクトが環境教育、環境保全活動として評価できること。
25-2-A	公益社団法人 sweet treat 311	A	宮城県石巻市における海と山につながる新しい自然体験プログラムの開発事業	東日本大震災の被災地域において、震災後の持続可能な地域コミュニティづくりを目指すおがつ自然学校での新たな自然体験プログラム、IT活用プログラムの開発と実施。	12,000	9,000	東日本大震災被災地におけることも達への環境教育活動として評価できること。
25-3-A	特定非営利活動法人 関西国際交流団体協議会	A	ESDベストプラクティスの収集・評価・顕彰事業	「ESDの10年」の終了年である2014年を見据え、ESDの「ベストプラクティス」の事業事例の収集・評価・分析、事例発表セミナーの開催、「ワン・ワールド・フェスティバル」での同テーマのシンポジウム開催等の事業の実施。	10,963	8,481	「ESDの10年」終了年2014年に向けての環境教育、環境保全活動として評価できること。
25-4-A	特定非営利活動法人 伊万里はちがめプラン	A	生ごみを宝に！食資源循環活動の移転・支援事業	これまでの環境教育実績等を生かし、環境教育・啓発活動としての体験学習基盤整備、他地域への環境活動・技術を移転・普及のための人材育成事業等の事業の実施。	7,458	5,960	環境教育、環境保全活動として評価できること。
25-5-A	特定非営利活動法人 ドリーム・コンプレックス	A	児童絵画による環境教育事業－愛・地球博から麗水万博まで－(「Kid Art Fest 2013」と「万博シンポジウム」)	愛・地球博以降の万博で募集・実施してきた子ども絵画展の集大成となる「Kid Art Festa 2013」、「万博シンポジウム」の開催等の事業の実施。	10,211	7,000	愛・地球博以降の万博において、子ども達の絵画を通じた環境教育、国際交流活動として評価できること。
25-6-A	特定非営利活動法人 日本水フォーラム	A	持続可能な衛生技術・システムの普及に向けた事業	深刻な衛生、環境問題の原因となっており、国際的にその根絶が課題、目標となっている野外排泄問題の解決に向けて、「日本・途上国トイレ大賞(仮称)」の創設、途上国でのセミナー開催等の事業の実施。	7,540	6,000	環境保全活動、国際交流活動として評価できること。

事業番号	団体名	区分	事業名称	事業内容	助成対象費用	決定助成限度額	採択理由
25-7-A	「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム	A	ESD地球市民村「ラーニング・プログラム」	2014年日本での開催が決まった「ESDの10年・世界の祭典」事業に向けて、一般の方々に身近にESDに参加・体験できる市民向けラーニング・プログラムの実施。	9,368	7,500	愛・地球博において実施されたESD運動の発展をめざす環境教育活動として評価できること。
25-8-B	特定非営利活動法人国際教育情報交流協会	B	「環境と自然」日ネ子どもの絵 国際理解促進事業	日本・ネパールの教育関係者の連携により両国の子供たちによる「地球環境と自然」をテーマとした絵画の募集、選定、展示会、子供向けのワークショップ、国際シンポジウムの開催等の両国での実施。	6,869	5,495	日本とネパールの子供達に環境への意識を認識させる環境教育活動、国際交流活動として評価できること。
25-9-B	公益社団法人アジア協会アジア友の会	B	第3回アジア・ユースサミット	アジアの高校生が環境を通して「食」という地球的課題の解決に向けたメッセージの発信を目指す第3回アジア・ユースサミットの大阪、奈良での開催。	9,989	7,970	環境を通しての食をテーマにアジア規模での環境教育活動、国際交流活動として評価できること。
25-10-B	特定非営利活動法人グリーンバレー	B	「森と共に生きる暮らし方」探訪キャラバン2013	国内外の映像作家等の協力による全国規模での「森と共に生きる暮らし方」についての映像制作、同上映会、シンポジウム開催等の実施。	8,750	7,000	地域発の環境教育活動、国際交流活動として評価できること。
25-11-C	輪島商工会議所	C	自然環境都市輪島からの魅力と絆発信事業	エコカートによる次世代交通実証実験の実施、同実験成果の首都圏での普及宣伝イベントの開催、同イベント内での福島復興支援の展示等の実施。	11,188	8,000	自然や環境に配慮した新たな社会システムの開発普及に寄与する実験事業として評価できること。

(注) 助成対象費用と決定助成限度額の百円以下は四捨五入により表示しています。

区分

A=愛・地球博記念事業を発展促進させる事業部門

B=国際交流を促進させる事業部門

C=「自然の叡智」を深化させる事業部門